

なかがわ 議会だより

No **115**

2016.1

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



1月7日 消防団獅子舞

主な 内容

- 年頭のご挨拶
- 第4回 定例会〔一般質問 4氏〕
- 経済常任委員会所管事務調査中間報告
- 決算審査特別委員会
- 議会日誌 ●編集後記

年頭のご挨拶

中川町議会議長 佐藤輝雄



新年あけまして、おめでとうございます。町民の皆様には、輝かしい平成28年の年明けを御健勝にて迎えられましたことと心から喜び申し上げます。

さて、昨年は4月に統一地方選が行われ、中川町議会は新たな議会構成のもとで5月の臨時会以降、12月の定例会を経て今日まで議会活動に努めてまいりました。

この間、町民の皆様には議会に対する深いご理解とご支援を賜り心から感謝を申し上げます。また、国政においては、安保関連法の成立やマイナンバー法の施行など、国民の関心も高く大きな話題となりました。取り分け、TPPの大筋合意については、本町の基幹産業である、農業を始めさまざまな分野において影響が懸念されており、今後、協定発効までに政府の具体的な対策が着実に実行されるよう、議会としてもしっかりと取り組んでまいりたいと思います。現在、人口減少社会への対応策として、年度内に国へ提出する中川町の「地方創生総合戦略」の策定作業が進められております。これまで概要についての報告は受けておりますが、多くの町民の声や策定委員の

意見をまとめた最終提案の内容を受け、協議会において議会としての意見を反映して参りたいと考えております。

町の財政状況がより厳しさを増す今日、多様な住民要望に対応するには従来の議会活動から脱却し、議会は自己責任、自己決定の原則に基づく二元代表制での地方自治の一翼を担う意思決定機関としての役割を果たさなければならぬ。それには確固たる理念と実効性、継続性のある議会のルールが明記された議会基本条例による円滑で効率的な議会運営が求められております。中川町議会は憲法が定める条例制定権を根拠とする議会の最高規範である議会基本条例の制定に向けて、9月定例会において特別委員会を設置し、鋭意取り組みを進めているところであります。

本年も議会は住民参加と情報公開を進め、町民皆様の負託に応えようよう全力を尽くしてまいりる所存であります。この平成28年が町民の皆様にとって平穏で明るい良き年であり、また心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

あけましておめでとうございます



小川 鉄 吉



斉 藤 俊 幸



今 野 大 樹



副議長 鎌 塚 一 成

事務局
局長 齋藤裕志
書記 亀田史織



佐 藤 正



坂 尻 栄 治



内 山 信 悟

中川町功労者表彰

11月27日、ポンピラアクアリズイングにおいて、永きにわたり町政の進展と住民福祉の向上に尽くされた方の表彰が行われました。表彰を受けた方は次のとおりです。

○町議会議員として12年以上

前議員	渡部俊彦氏
議員	鎌塚一成氏
議員	坂尻栄治氏



上川町村議会議員研修会

上川町村議会議員研修会が10月27日に当麻町において開催され、今年度は次の2氏による講演を受け、研修してまいりました。



講演1 「TPP交渉について」
東京大学大学院農学国際専攻教授
鈴木宣弘氏



講演2 「日本経済の課題と展望」
経済ジャーナリスト
須田慎一郎氏



議会を傍聴しませんか

議会活性化のために、多くの町民の皆さまの傍聴をお待ちしております。

◆第4回定例会◆

平成27年第4回定例会は12月16日招集され、会期を2日と決し、4議員の一般質問、認定6件、承認1件、同意1件、条例7件、予算6件、会議規則4件を決議し、閉会しました。



第4回定例会の様子

議案審議結果

【認定】

- ▼平成26年度決算審査特別委員会委員長報告
- ・平成26年度中川町一般会計歳入歳出決算認定
- ・平成26年度中川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

- ・平成26年度中川町介護保険特別会計歳入歳出決算認定
- ・平成26年度中川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定
- ・平成26年度中川町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定

- ・平成26年度中川町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定

【原案認定】

【承認】

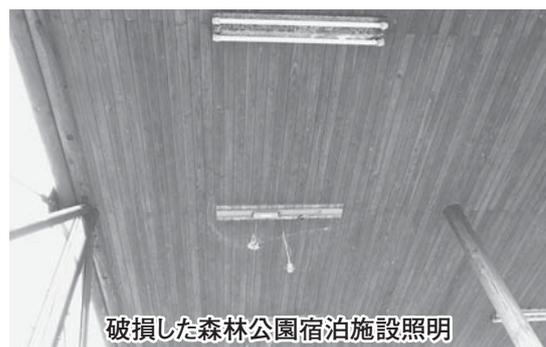
- ▼専決処分承認を求めることについて（平成27年度中川町一般会計予算補正）

■歳入歳出総額に、それぞれ254万5千円を追加し、予算総額をそれぞれ37億8536万2千円とする

【原案承認】

主な補正内容は現年災害復旧費作業手数料、修繕料など

の追加



破損した森林公園宿泊施設照明

【同意】

- ▼中川町教育委員会委員の任命
菊地 広幸 氏

【原案同意】

【条例など】

- ▼中川町個人情報番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定について

【原案可決】

番号法（マイナンバー制度）の施行による制定

- ▼中川町税条例等の一部を改正する条例について

【原案可決】

法改正及び番号法（マイナ

ンバー制度）の施行及び軽自動車税の税率変更による改正

- ▼中川町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

法改正及び番号法（マイナンバー制度）の施行による改正

- ▼中川町介護保険条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

番号法（マイナンバー制度）の施行による改正

- ▼災害用慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

第2条第1号中「洪水、」の次に「雨水出水、」を加える

- ▼中川町職員の再任用に関する条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

公務員共済年金を厚生年金に統合することによる改正

- ▼中川町放課後児童健全育成

条例の一部を改正する条例について

【原案可決】
第2条第2項の表中、定員「30名」を「40名」に改める



児童クラブ(ちやいむ2階・児童室)

▼平成27年度中川町国民健康保険特別会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ1107万4千円を追加し、予算総額をそれぞれ2億6789万5千円とする

【原案可決】

主な補正内容は高額療養費、退職被保険者等保険税還付金及び国庫負担金返還金などの追加

▼平成27年度中川町介護保険特別会計予算補正

■保険事業勘定の歳入歳出総額に、それぞれ57万8千円を追加し、予算総額をそれぞれ2億1397万1千円とする

【原案可決】

主な補正内容は特定入所者介護サービス等費などの追加、居宅介護サービス給付費などの減額

▼平成27年度中川町後期高齢者医療特別会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ174万6千円を追加し、予算総額をそれぞれ3023万9千円とする

【原案可決】

主な補正内容は広域連合負担金・保険料などの追加

▼平成27年度中川町簡易水道事業特別会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ66万1千円を追加し、予算総額をそれぞれ1億2270万1千円とする

【原案可決】

主な補正内容は消費税、修繕料などの追加

▼平成27年度中川町農業集落排水事業特別会計予算補正

■歳入歳出総額に、それぞれ69万4千円を追加し、予算総額をそれぞれ9021万4千円とする

【原案可決】

主な補正内容は消費税などの追加

▼経済常任委員会所管事務調査報告(中間報告)

■事件
公共施設の今後のあり方について

・ポンピラアクアリズインの今後について
別掲10ページ

▼閉会中の継続調査の申し出(総務常任委員会)

■事件

1 保健・福祉・医療の連携と地域福祉についての現況と今後の展開について

・地域福祉(社会福祉協議会の充実・強化)の担い手について

2 子育て支援及び食育の現況と今後の展開について

・学校と家庭の連携と学校給食について

■期限

平成28年第1回定例会まで
【継続調査決定】

▼閉会中の継続調査の申し出(経済常任委員会)

■事件

1 農業振興対策の現況と今後の展開について

・農地の活用方法について
・農業振興センターの役割と課題について

2 公共施設の今後のあり方について

・ポンピラアクアリズインの今後について

■期限

平成28年第1回定例会まで
【継続調査決定】

▼上川町村議会議長会役員会及び上川北部市町村議会議長会1月定例会

【議員派遣決定】



自給飼料センター

▼閉会中の継続調査の申し出(議会運営委員会)

■事件

1 本会議の会期日程等議会の運営に関する事項について

■期限

平成28年第1回定例会まで
【継続調査決定】

問 予算案提出時の現地での説明について

答 効果的な対応に努めてまいりたい



内山信悟 議員

現在の地方自治体は住民の直接選挙によって選ばれた町長と議会議員の二元代表制の下で町政が執行されていると思います。町民に対する責任としては、行政も議会も同じであるとは認識していません。行政の代表である町長が予算を作り、議会が承認し、町長が執行し、議会がチェックすると言う流れの中で予算が提出され、提案説明が行われますが、土木工事、建築工事、財産の取得、建物の改修補修等の現場がある予算に関しては、机上での図面による説明と現地でも説明をお願いしたいです。

又、工事終了時点でも、完了報告、説明があるのが普通の考え方だと私は考えています。百聞は一見に如かずではないのでしょうか。

川口町長
建物の改修補修を含めた土

木建築工事、並びに財産の取得にかかる予算提案時には、図面及び現地での説明をとの内容でございしますが、行政並びに議会、双方の権限が効果的に、また効率的に行使、發揮されるよう、予算提案にあたっては説明資料を作成し、予算概要とともに主要事業の説明をさせていただき、予算審査特別委員会を中心にご審議いただいていることはご承

問 自治体業務のクラウド コンピューティング化について

答 広域的な クラウド型システムと発展

知のとおりであります。また、ハード的な事業などは、説明資料の中でも図面等を添付させていただいておりませんが、予算審議等の中で必要性が生ずれば、現地をご確認いただくことも一つの手法であると考えます。議会あるいは委員会のご判断のもとで、効果的な対応に努めてまいりたいと考えております。

地方自治体業務におけるコンピューターシステムのクラウド化のメリットとして挙げられる項目はコスト削減効果、以下、災害対策の効果、セキュリティレベルの向上等が挙げられています。クラウド

化により30〜40%の行政コスト削減が見込まれるようです。中川町においても数百万円のコスト削減が見込まれると思えます。そこで中川町の庁舎内部での現状をお聞きしたい。

川口町長

議員ご指摘のとおり、昨今の人口減少や少子高齢化という社会状況の中で地方自治体における財政コストの削減は、必要不可欠な課題であると認識いたしております。本町は、平成22年11月に道内で初となるクラウド型システムを導入し、クラウド型共同利用総合行政基幹システムを稼働しております。本町のシステム稼働後、当システムのほば全ての市町村が共同利用する広域的なクラウド型システムと発展しており、共同利用型として開発されている様々なメニューや帳票サンプルが用意されているため、それぞれの市町村が独自仕様を極力抑えることが可能となっております。

佐藤総務課長

当町では多額な費用がかかるので、コンビニ等での住民票等の発行は受けられない。2. 現在使用している住民基本台帳カードとの関係は。

松原住民課長

当町では現在、144名が住民カードの発行を受けており、確定申告時のE-TAX申告に使用されていると認識しています。マイナンバーカードの交付が間に合わないときは、住民カードの有効期限内であれば使用できる。

再質問

自治体業務のクラウド化と、マイナンバーカードとの関係についてお聞きしたい。

佐藤総務課長

高齢者に対しては社協、ヘルパー、デイサービスセンターを通して説明しているが、説明できる内容が未だあまりない。

1. マイナンバーカードを取得することで、コンビニ等で住民票等の発行が受けられるのか？

問 次年度以降の 子育て支援策について

答 安心して子どもを産み育てられる 環境づくりを進める

地方創生総合戦略において、人口減少社会対策として子育て支援は重要課題となっております。そこで次の点について伺います。

- ①次年度以降の子育て支援に關する具体的施策について
- ②幼児センター施設の今後について

川口町長

1点目の質問であります。子どもは地域の希望であり未来を作る力であります。子どもの健やかな育ちと子育てを支えることは、一人ひとりの子どもや保護者のしあわせに繋がる最も重要な地域課題の一つであります。

また、地域社会が子育てを支援することで、親としての成長を支え、子どもの成長に喜びや生きがいを実感できる環境を整えることが重要であります。

そこで、平成27年3月「中川町子ども・子育て支援事業

計画」を策定し、「自然の中でいきいきと、子どもや親が、地域が育つまちづくり」を基本理念とする様々な施策に取り組んでいるところです。

今後、中川町が具体的に検討すべき子育て支援の課題は
(1)子育て世代の経済的・精神的負担の軽減を図り、安心して出産や子育てができる環境づくり

(2)地域ぐるみの子育て支援に取り組む各種団体組織との密接な連携と、安定的に質の高い保育教育を充実するマンパワーの確保

(3)子どもの健全な成長を支える機能的な施設環境の整備の3点で、いずれも財政的な負担が求められますが、早急な判断が求められていると認識いたしております。

次に2点目のご質問にお答えいたします。

近年、就学前児童数は70人を超えて推移し、毎年50人以



今野大樹 議員

上の子どもたちが幼児センターを利用しております。

現在の施設は、昭和56年に建設され34年が経過しており、平成19年4月に幼稚園と保育所が一体となった認定こども園「中川町幼児センター」として開設しました。

しかし、「中川町子ども・子育て支援計画」(平成27年度〜平成31年度)において、施設の老朽化や乳児室等の保育環境の整備、さらには地域子育て支援センターとの一体的な運営などが本町の子育て支援への課題であると認識を

しているところです。最後になりますが、町づくりの基本は「元氣な人づくり」にあります。

今、本町が抱える最大のテーマが「地方創生」人口減少問題であり、地域の「宝」である子どもたちの健やかな成長と、若い世代が安心して子どもを産み育てられる環境づく

くりを優先課題として取り組んで参りますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

再質問

新年度に向けて新たな事業、もしくは拡充する政策はあるか。

川口町長

現在予算案作成中であり、具体的には申し上げられないが早急な判断を求められると認識している。

再質問

君の椅子など心の豊かさに関する政策が実施されているが、生活に一定の余裕がなければ心の豊かさを持つことは難しいが、経済的支援についてどう考えているか。

川口町長

数字的なことはそこまで難しくはないと思うが、先ほどの答弁で挙げた3点について具体的に進めたいと考えている。

再質問

地域おこし協力隊の木工クラフトを利用してお食い初めの食器を贈ることはできないか。また、マンパワーについては具体的にどんなことを想定しているのか。

川口町長
1点目については前向きに検討をしたい。



地域おこし協力隊木工クラフト作品

松原住民課長

よみ聞かせ、ポンピラ塾等を想定しているが、このようなグループも高齢化しているので若い世代の協力も得られるようにしていきたい。

再質問

幼児センター施設の新設含め、今後の在り方を伺いたい。

川口町長

施設の安全性を第一とする状況判断が必要。手狭感はあるのは事実だが、これからの子ども達の推移も含めて慎重な判断をしなければならぬ。地域ぐるみで子育て支援の在り方を含め議論したいと考えている。

問 TPP大筋合意にもなる 本町農業の今後について

答 将来への十分な備えをします

環太平洋連携協定、いわゆるTPP交渉が大筋合意されました。この合意によって、今後安い農産物の輸入が大幅に増加し、本町の農家に対しても激しい価格競争に直面し、特に酪農家と肉牛生産農家へのマイナスのインパクトが大きくなるのが予想されます。本町は農業を基幹産業として町が構成され、農業のダメージは地域社会のダメージになります。

1. 現在の農家戸数及び後継者不在で経営者が65歳以上の内訳
2. 第7次中川町農業振興計画書の進捗状況について
3. TPP合意に対する町長の考え方について

川口町長

1. 1点目の質問ですが、本町の実質的な農家戸数は個人41

戸、法人9戸の計50戸であり65歳以上は6戸となっています。

再質問

2. 2点目は、評価は28年度において実施する考えでいます。3点目は、本町における影響については、畑作・酪農・林産物の大半が対象になり、生産者の皆様に大きな不安が広がっています。先の全国町村長大会においても、農村政策の在り方として「都市・農村共生社会の創造」を提言し、農村社会が果たすべき価値と可能性について訴えたところです。

再質問

1. 将来的には広範囲な離農跡地と未利用地の出現が予測されます。TPP批准や地域農業の将来に備え、この内の一部を町が「土地開発基金」を使用して保有し、担い手や新規就農者対策に活用してはどうか。

再質問

2. 町産業振興課に農業専門職を確保し厳しい局面に備



斉藤俊幸 議員

えるべきと考える。
3. 現在の「第7次中川町農業振興計画書」を見直し、

問 観光振興について

答 新しい地域振興策として積極的に支援します

観光振興は、地域における交流人口の拡大や地域の活性化に寄与するものであり、宿泊業や飲食業など、すそ野の広がりを通して産業やインフラ整備など地域振興にも大きな役割を果たしていきます。

観光協会が主体となって取り組んでおり、今後とも連携を密にして進めていきます。ご質問の「道北版スイス・モビリティ」は、ヨーロッパのスイスを発祥の地とし、各地で大きな注目を集めています。

川口町長

町の観光振興については、

再質問

この事業は観光空白地帯となつている道北にあつて、明確なコンセプトをもった広域

TPP批准を前提にした本町農業の支援策を再検討すべきと思う。

川口町長

1については法的な規制など調査し検討する。2については重く受け止め検討をスタートする。3については現行計画の中で対処する。

川口町長

この事業は地域の命運を左右する内容を持ち、中川町観光協会と行政が命運を託されたという思いでいます。

事業の成功に向け、町は観光協会の単なる後方支援ではなく積極的に支援していきます。事務所や人の問題について今の時点では慎重姿勢ですが、商工会を含めてもう一歩前に進むことによって、必ず必要になってきます。その時は十分配慮させていただきます。

問 町づくりに対しての
今後の具体策について

答 基幹産業の振興と
新たな事業の構築を図る

先の定例でも伺っておりま

すが、経済的計画を立て事業
の確保をしてとのことでした
が、策として具体的立案がさ
れているのか、伺いたいと思
います。主要産業の活性化が
あって、地域づくりに寄与出
来ると考えますが、町長とし
て住民が安心して暮らせる政
策を明確に具体策としてお答
えを求めます。

1) 主要産業に喚起を促す策
について

2) 農業センターの役割につ
いて

3) 今後に向けた福祉対策に
ついて

川口町長

1点目ですが、本町は「第
6次中川町総合計画」を基盤
とし、「第7次農業振興計画」
や「中川町森林整備計画」な
どの個別計画を着実に具現化
することで、基幹産業を振興
し、かつ新たな価値を見出し
た事業構築を図っていく考え
であります。

よって、農林業を中心とし
た地域産業振興を図り、持続
可能な地域経済を目指してい
く考えであります。

次に2点目のご質問であり
ますが、農業振興センターは、
第7次農業振興計画策定の中
で示された多くの課題解決を
目指して平成24年度に条例化
されたのはご承知のとおりで
あります。経営基盤強化に向
けた連携強化を図ることで、
地域の総合的な生産コストの
低減を推進し、農家経営の向
上と担い手の確保を図ること
を目的に新たな組織として立
ち上げたところです。

特に、農業行政における専
門的知識を有した職員を配置
し、生産者をはじめ各関係機
関連携のもとで総力を結集し、
農業経営を目指すの組織とし
て全力を傾けてまいりますの
でご理解をお願いいたします。

次に、3点目のご質問にお
答えいたします。

本町における高齢化や核家



佐藤 正 議員

族化が進展するに伴い、高齢
者のみの世帯が増加し、様々
な社会的弱者の方々の出現が
顕著になっております。その
結果、様々な生活課題が生じ
ており、それらの解決に向け
た取り組みを確実に実施する
中で、地域活動との連携を強
化し、きめ細やかな課題の把
握に努め、行政が取り組むべ
き施策に努めてまいりますの
で、ご理解とご協力をお願い
いたします。

再質問

中川町のまち・ひと・しご
と創生総合戦略の中でも基本
テーマの一つとして一次産業
の振興と雇用創出を掲げてお
りますが、今の進捗はどうな
のか、お答えください。

佐藤総務課長

進捗状況は、人口減少・人
口流出を防ぐため地方創生総
合戦略に今取り組んでおりま
す。6月からはじまり、現在
は住民アンケートを実施した
中間報告、人口ビジョンの口

ストワン、ワークショップ等
の開催をしています。総合戦
略として、高齢化社会、第一
次産業の振興と雇用創出、定
住移住の促進、子育ての支援
5つの視点をいかに具現化し
ていくかを現在案として作っ
ている最中であります。当初
12月に最終案を提示と考えて
おりましたが、1月の半ば程
度には最終案を議会にお示し
できると思いますのでご理解
願いたいと思います。

再質問

農業センターは今どういう
役割は担っているのですか。
内部でどういう議論をされて
いるのですか。

高橋産業振興課長

農業センターの役割につ
いては、当初この農業振興セン
ター設立に当たったの構想で
議会の方にご説明していると
おり、振興センターが抱えて
いる牧場問題、または乳検、
ヘルパー、コントラ、全てを
一括で進めることが一番の目
標ですが、個別で行くべきな
のか、全体を包括した中で、
もう一回きちつと理解された
中で動くべきなのかというこ
とで、今、町長とも、打ち合
わせをさせていただいている

ところであります。荒廃農地
については中心から離れた場
所であり、農地として利用が
できない部分があります。今
後、北海道の農業会議とか上
川総合振興局とも相談しなが
ら農地の利活用、農地の荒廃
をなくすように努力していき
たいと思っております。

再質問

最後に今後の福祉対策につ
いて伺いをしていきたいと思
います。高齢者にも、応分
の負担をお願いしなければ財
政が持たなくなる。将来的な
財政含めた展望を掲げながら、
議論し、後継に譲るべきでは
ないですか。

川口町長

高齢社会をどう支えていく
のかということは、中川町の
極めて大きな課題であります。
当然私は町長就任する時点の
一つのスローガンが「元氣な
高齢社会」でございます。議
会の方から高齢社会に対する
負担をより求めるべきだと声
があつたことも含めながら、
今後検討を重ねていかなけれ
ばならないと思っております。

経済常任委員会所管事務調査(中間報告)

本委員会の所管に属する調査事件について、次のとおり調査結果を報告します。

1. 調査事件名

公共施設の今後のあり方について

・ポンピラアクアアリスイングの今後について

2. 調査報告(中間報告)

○現地調査

・平成27年9月4日

ポンピラアクアアリスイング

・平成27年11月11日

滝上町・ホテル溪谷

・平成27年11月12日

旭川市・林産試験場

○調査結果

町長は平成27年9月16日の全員協議会に「ポンピラアクアアリスイング改修の基本的な考え方」を大きく6点について示した。

施設は劣化が進行しているため、計画的な改修を進める

としているが、大きな財源が必要となる。

・ポンピラアクアアリスイング 宿泊棟(客室)をはじめとする現地調査を行った。施設をはじめ備品等についても経年劣化が進んでいる。

・滝上町・ホテル溪谷 委託料は中川町より少額であるが、ここ数年で施設改修を行っている。

木質バイオマスについてチップポイラーが導入されており、滝上町全体の出材量や滝上町内に工場があり、加工を

含め優位性があることが木質バイオマスを推進しやすい環境にある。

・旭川市・林産試験場 木質バイオマスについて担当部署から説明を聞き、最近の実態について調査した。

CO2などの環境面や経済流通が町内で循環するなど、メリットについては十分理解できるものではあるが、身の丈に合った木質バイオマスの在り方を検討する必要がある。



以上の調査結果等を踏まえて、諸点について報告(中間)する。

①クアプールの廃止と新たな機能

建設時のメイン施設であった同施設ではあるが、廃止はもつともである。

このことは、やむを得ないが跡利用はどうするのか。



ポンピラアクアアリスイング クアプール

②休憩機能の充実

入浴施設として、食事・休憩が可能な施設としての充実で良いのではないか。

③外構の整備

駐車場は雨水と除雪について適切な維持管理ができる整備。

④躯体の維持管理

改修するとならば急がれる

ことであるが、今後の健全経営を考慮に入れた使用面積(宿泊数)の適正化を検討するべきである。

⑤各種機能の整備(集会室、売店、喫煙室、備品、その他)

同類施設の徹底的検討を住民・町・議会一体となった検討が急がれる。

また、運営体の検討は最重課題である。

⑥木質バイオマスの導入について検討

中川町の木材生産状況や二次製品の加工施設の有無、また昨今の原油価格の情勢も大きな課題である。

工場のない中川町において、原材料の安定供給や民間企業等との合意形成など、懸案事項は多数あることが考えられる。

以上の事を踏まえ、現下の中川町の人口や財政負担能力、そして今後の道北における近隣の状況などを勘案した検討が急がれる。

平成26年度 一般会計 5特別会計 決算を認定

決算審査特別委員会（委員長 鎌塚 一成）が設置され、10月29日・30日の2日間にわたり審議し、すべての決算を認定しました。そのあらまは次のとおりです。

一般会計・特別会計

区 分	収入済額	支出済額	形式収支	実質収支
一 般 会 計	4,557,077千円	4,466,822千円	90,255千円	76,483千円
国民健康保険事業	218,204千円	210,354千円	7,850千円	7,850千円
簡易水道事業	118,161千円	118,067千円	94千円	94千円
農業集落排水事業	85,727千円	85,699千円	28千円	28千円
介護保険(保険事業)	201,342千円	201,048千円	294千円	294千円
(サービス事業)	8,302千円	8,302千円	0千円	0千円
後期高齢者医療	30,931千円	30,741千円	190千円	190千円

※実質収支＝形式収支－翌年度に繰越すべき額

平成26度の事業が適正に執行されているか審査を行い、町当局から各事業の目的や効果について説明を求め、決算を認定しました。

主な質問事項

歳入全般

(一般会計・特別会計)

- 町税の不納欠損について
- 町税の滞納処理のあり方について
- 公営住宅の使用料・車庫使用料について
- 地方交付税について
- 特別交付税について
- 国民健康保険等町収入について

総務課関係(歳出)

- 住宅新築・リフォーム促進事業について
- 支障移転工事について
- 交流プラザ改修工事について
- 防災用品備蓄について
- 財産管理費について
- 職員給与費について

住民課関係(歳出)

- 職員研修事業について
- OA推進費について
- 職員住宅の営繕工事について
- 職員住宅のあり方について
- 人づくり研修について
- 高齢者ハイヤー事業について
- 住民バスの利用状況について
- 高齢者住宅除雪事業について
- 出生祝い金について
- 出生時の医療費支援について
- 中川町立診療所の運営委託料について
- 幼児センターの職員構成について

産業振興課関係(歳出)

- エゾシカ緊急捕獲事業について
- エゾシカ捕獲場所の確認方法について
- 薪の販売について
- 薪ストーブ助成事業について
- 牧場運営事業について
- 森林環境保全整備(作業道作設)工事について
- 酪農畜産振興支援事業について
- 農業振興センター参加戸数について

環境整備課関係(歳出)

- 農業振興センター使用料及び貸借料について
- 農業振興センターの経営実態と今後の見通しについて
- 世田谷区との交流事業について
- プレミアム商品券販売事業について
- ポンピラアクリズイングの指定管理について

教育委員会関係(歳出)

- 学習支援塾運営事業について
- 中川村交流派遣事業について
- 教員住宅解体事業について
- 学校の備品購入について
- 図書室の利用状況について
- ちやいむの外構工事について

議 会 日 誌

10月

- 25日 平成27年度中川消防秋季消防総合訓練
- 〃 民主党北海道代表 ささき隆博 ふるさとの集い【名寄市】
- 27日 上川町村議会議員研修会【当麻町】
- 28日 平成27年度中川町遺族会「戦没者慰霊法要」
- 29日 決算審査特別委員会（30日まで）
- 〃 第16回全員協議会
- 30日 平成27年度中川町表彰審査委員会

11月

- 8日 幼児センター発表会
- 10日 上川町村議会議長会臨時総会
- 11日 第59回町村議会議長会全国大会【東京都】
- 〃 上川町村議会議長会現地研修会【石川県】（14日まで）
- 〃 経済常任委員会所管調査【滝上町・旭川市】（13日まで）
- 17日 第5回総務常任委員会
- 〃 総務常任委員会所管調査
- 19日 第2師団長 住田和明様歓迎会【名寄市】
- 25日 北海道電力天塩営業所長より

12月

- 27日 平成27年度中川町表彰条例に基づき表彰式
- 〃 第5回経済常任委員会

1月

- 4日 成人の日のつどい
- 7日 中川消防出初式
- 8日 平成28年名寄駐屯地新年交礼会【名寄市】
- 9日 第13回議会運営委員会
- 〃 第6回経済常任委員会
- 16日 第4回定例会（17日まで）
- 〃 第17回議員全員協議会
- 〃 第18回議員全員協議会
- 〃 第1回議会基本条例制定特別委員会
- 25日 上川町村議会議長会監査・役員会【旭川市】

今冬の電力需給対策と節電等のお願い



1月7日 中川消防出初式



1月4日 中川町成人の日のつどい

編集後記

新年あけましておめでとうございませう。

昨年は景気の回復といわれながら、地方においては、その実感がわかないまま過ぎて行きました。そうしたなかで、日本人科学者が2日連続でノーベル賞の栄誉に輝くという、世界が驚くようなビックニュースもありました。

今年の干支は申です。申には「難をサル」という意味もあるそうです。尾崎行雄のことばに「人生の本舞台は常に将来にあり」とあります。今年こそ景気が回復し、町民の皆様にとって穏かで幸多いことをお祈りし後記とさせていただきます。

(俊記)



議会広報特別委員会

委員長 齊藤 俊幸
委員 今野 大樹

